有限会社 吉田歯車製作所

有限会社
吉田歯車製作所

和を大切にしてものづくりに取り組む従業員たち

歯車製造のノウハウ生かし次世代に向け新たな挑戦

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット

業務内容 安定した品質のものづくりに注力

昭和20年の創業以来、歯車製造のスペシャリストとしてさまざまな顧客の要望に対応。円柱鋼材の切断から旋盤によるブランク加工（歯車加工前の軸穴や外径の加工）、歯切り、キー溝加工（回転軸に歯車を固定するための溝の加工）、研磨、検査まで、社内での一貫生産体制を整えている。

吉田周平社長は「ブランク加工がうまくいっていないと、回転時に軸がぶれるなど歯車として成り立たない。全工程で生産技術や技能の底上げを図っている」としており、安定した品質の製品を世に送り出すためにも責任を持って取り組んでいる。

強み 摩耗や欠損の状況から独自技術で復元作業

歯車においては、製造元の機械メーカーなどにメンテナンス用純正部品の在庫がない場合、顧客から破損した歯車を復元してほしいといった注文がある。その際に設計図面の保管がないことが多く、摩耗や欠損の状況から歯車が使用されている機械の状態や破損に至るまでの経緯などを類推。そのうえで改めて図面を作成し、復元作業に当たる。単に元の歯車と同じものを提供するだけではなく、滑らかに回転させるために歯を微調整したり、かみ合わせた時の最適なすき間を割り出したりなど、70年以上培ってきた同社のノウハウや独自技術を生かした歯車製品を顧客に提案している。

事業承継 第2工場新設 新製品開発にも意欲

平成25年に後継者がなく廃業を検討していた大阪のメーカーから、空圧・油圧バイス（万力）や空圧コレットチャック（工作機械に加工対象物を固定する工具）を製造・販売する事業を引き継いだ。その生産拠点を確保するため、本社工場の隣接地に第2工場を新設。直近の5年間は部品加工や組立工程の精度と品質面の向上に全社を挙げて取り組んできたが、今後は新製品開発にも着手していく予定だ。吉田社長は「もし自社の製造現場で使う場合には、どんな仕様や機能がいいかという点も盛り込んだ新製品にしたい」と、方向性を語る。

今後の展望 和を大切にして互いに連携し合う

各工程の専門性と技術水準を高めるため分業体制をとっているが、より高精度な加工を実現するために、仲間への目配りや尊敬し合う気持ちを大切にするなど協業意識を高めている。各工程間で緻密な連携を行い、「人の和を大切にして、みんなが成長できる組織」を今後も維持していく。

吉田社長も含め、従業員は60－70代が3名、30－40代が5名の計8名。「次世代に技術を引き継いでいくことを考えれば、30歳以下の若い人を迎え入れたい」と、人材確保にも本腰を入れる考えだ。人材獲得と風通しの良い組織づくりにより、顧客からの高い要求に対応していく。

さまざまな歯車製品

正確な位置決めが可能なバイス

当社の歴史

大阪 30

昭和２０年10月、祖父の吉田義一が現在の本社所在地で「吉田鉄工所」を立ち上げました。もともと、歯切り加工前のブランクを旋盤加工する仕事からスタートし、同37年に現在の社名に変更しました。ユーザーの問題解決につながる技術や製品を提供できる会社であり続けたいと考えています。

代表取締役 **吉田 周平**さん

http://www.yoshida-gear.com/

主な事業内容

歯車・精密機械部品の製作、バイス・コレットチャックの製造・販売

主な取引先(納入先)

工作機械メーカー、産業機械メーカー

●住　所　〒571-0031
門真市
古川町5-36
●ＴＥＬ　06-6908-2015
●ＦＡＸ　06-6908-9673
●創　業　昭和20年10月
●設　立　平成15年12月
●資本金　2,000万円
●従業員　8名